

市民と野党の共闘で安倍政権倒し、国民の声が生きたる 新しい政治を いっせい宣伝227カ所、265支部、900人参加

比例3候補がそろい踏み

比例東海ブロック4県(愛知、静岡、岐阜、三重)は11日、いっせいの宣伝に取り組み、「総選挙で比例3議席への躍進、市民と野党の共闘発展で安倍政権を退陣に追い込もう」と、各地で訴えました。120人の議員・候補者が参加しました。

三重県四日市市ではもとむら伸子、しまづ幸広両衆院議員、中野たけし比例候補の3氏が、そろって訴えました。内藤こういち(三重2区)、野村まさひろ(同3区)両候補も訴えました。

もとむら議員は、都議選で安倍政権に厳しい審判が下ったと語り、「総選挙では市民と野党の共闘をいっそう進化させ、比例3議席の実現を」と呼びかけました。

しまづ議員は、北朝鮮のミサイル発射・核実験に強く抗議し、「軍事衝突を回避し、国民の命を守るため、米朝が無条件で対話すべき」と、対話を否定する日本政府の対応を批判。

中野候補は、安倍政権が臨時国会に提出を狙う働き方改革を批判し、国民生活を守る党の躍進を訴えました。

足を止めて聞いていた男性(40)は「戦争に向かっていく安倍政権にもものすごい危機感がある。共産党に頑張ってもらいたい」と語りました。声援を送っていた別の男性が「赤旗」



左から中川候補、大嶽委員長、豊田市議=11日、津市

日曜版を購読しました。

●愛知県では、140カ所で宣伝。名古屋市中区では、東海ブロック責任者の岩中正巳愛知県委員長、もとむら衆院議員、すやま初美参院愛知選挙区候補、西山あさみ市議らが訴えました。

同西区では、鷲野恵子県議、青木ともこ市議らが宣伝し、通勤客が「選挙頑張つて」「安倍首相を厳しく追及する共産党を頼りにしている」と声をかけていきました。



比例3候補、三重2区、3区の候補が宣伝=11日、四日市市

●静岡県では36カ所173人が参加。JR清水駅前では松原さとし4区候補、望月賢一郎静岡市議らが宣伝しました。

声援を寄せた女性(53)は「北朝鮮は不安です。核兵器を放棄させるために努力しないと。親族に自衛隊員がいるので戦争に巻き込まれないよう頑張ってください」と話していました。

●岐阜県では、35カ所81人が参加。JR岐阜駅前では、山越とおる1区候補が訴えました。男性が戻ってきてビラを受け取ったり、女子高生や若者がビラを受け取りに来る姿もありました。

●三重県は16カ所で宣伝、県独自の赤旗宣伝デーとしても取り組み、ブロックニュースや赤旗見本紙を配布しました。

津駅前で、中川民英1区候補は「大企業の内部留保を賃金・雇用にまわせ」と訴え、大嶽隆司県委員長は、北朝鮮のミサイル発射・核実験に厳しく抗議し、危機打開へ米朝が対話して解決すべきだと訴え。豊田光治・津市議も訴えました。

総選挙勝利へSNS活用を

東海ブロックでネット対策会議開く

東海ブロック事務所は8日、東海4県ネット対策会議を開き、総選挙での市民と野党の共闘前進、東海比例3議席の実現に向け、インターネットやSNSの活用について意見を交流しました。中野たけし比例候補も参加しました。

党中央の田村一志宣伝局長が、インターネット、SNS活用の重要性が強調された第27回党大会決定や、その方針でたたかった東京都議選でのネット作戦を紹介。スマホサイトの新設、候補者の生放送、5分でわかる政策動画などに挑戦し、多くの反響があったと語りました。「立ち上がった市民と結びつき、共闘するため、SNSの活用を広げることが必要」と述べました。

愛知県委員会の比嘉敦宣伝部長は、候補者のプロモーションビデオの作成やSNS開設の援助などを報告。市民との懇談で、「比例東海ブロックの21議席のうち、野党は10議席。ここで党が1議席増えることは安倍政権を少数に追い込む大きな力になる」と話し合ったとのべ、「ブロックとしてネット上での戦略を位置付けて取り組んでいく必要がある」と4県共同での取り組みを提起しました。

解散・総選挙に追い込み東海96万票、比例3議席の実現を

いっせい宣伝
今回は10月16日